

株式会社 デンタル タイアップ

2025 年度 歯科医院合同セミナー

**保険のシステムを知り
本物のチームを作ろう！**
Seminar Report—セミナーレポート—

開催日時 2025 年 6 月 15 日 (日) AM 9:30~PM 13:00

Seminar Report

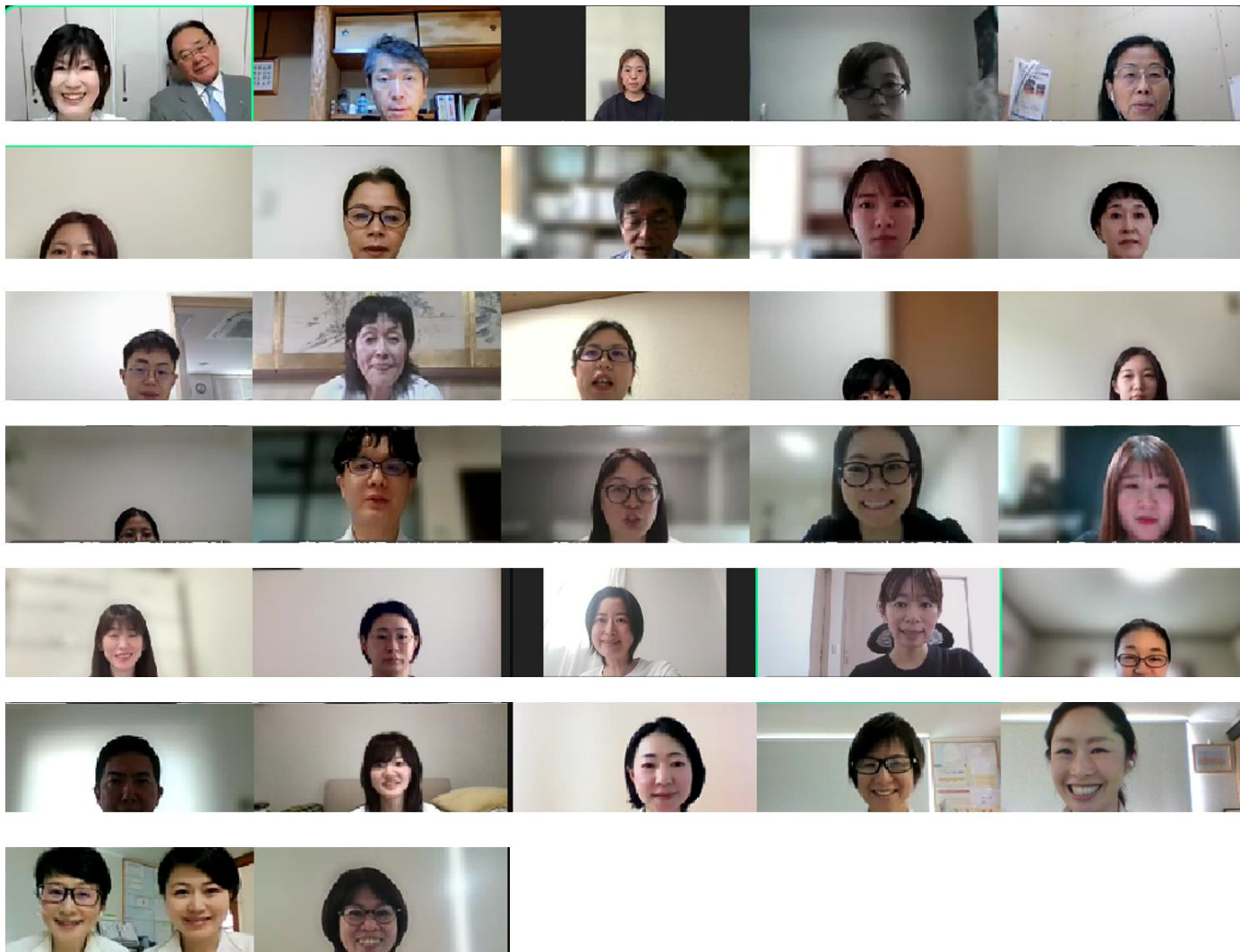
Zoom 発信地 株式会社デンタルタイアップ（広島県広島市中区榎町 5-20）

▶主催者講師・スタッフ（株式会社 デンタルタイアップ）

代表取締役 小原 啓子 / 局長 枡田 博昭

〔マネジメントスタッフ〕 畠山 知子・河野 佳苗・藤田 昭子・石田 眞南・平石 美和子・宮本 麻美・大平 絵美

〔事務局スタッフ〕 鈴藤 瞳・藤井 千恵・上田 恵



主旨

保険改正は、歯科医院の運営や患者対応に大きな影響を与えるため、正確な理解が求められます。

現在の歯科医療に関する現状を深く掘り下げ、昨年の保険改正に伴う疑義解釈についても詳しく解説いたしました。

また、ストレス管理やメンタルヘルスの重要性について、具体的な対策や実践方法を共有し、職場環境の改善に向けた意識を高め、勤務するスタッフが心身ともに健康で働き続けられるようにするための講演も行いました。

さらに、経験や取り組みを通じて、どのようにスキルを向上させ、患者さんにより良いサービスを提供しているのかを学ぶため、プロへの意識改革を促すため、認定を持っている方々の現状についてもお話ししました。

最後に、各自の知見や経験を持ち寄り、活発な意見交換を行うことでより実践的な知識を得ることを目指すため、グループワークを通じて参加者同士で情報共有を行いました。

このセミナーを通じて、参加者の皆様が新たな視点を得て、今後の歯科医療における成長につながることを期待しています。

スケジュール	項目	主な内容・ねらい等
09:30	開演 挨拶	
09:35	第1部 歯科医院全体で保険を知って行動しよう！ 昨年度の診療報酬改定後の疑義解釈をふまえて 最新情報で皆さんに発信 このたびは治療内容へも踏み込んだ解説	・口管強、外安全、外感染などの考え方 ・口腔機能管理の強化推進 ・訪問診療、周術期、技工への考え方の紹介 ・診療補助についている時 ここがポイントと気付く
10:50	第2部 いきいきと働き続けるための習慣 中條 克己様(産業医・労働衛生コンサルタント・経営士)	・職場でできる健康的な環境づくり ・今日からできる目からウロコのセルフケア法を紹介 ・睡眠・食事・運動・休養など、誰でも実践できる工夫の解説 ・永く元気に働くための生活のコツ
11:55	第3部 業務が変わる！浸麻を打つDHの意識 歯科医院の診療体制がこうに変わる	・浸麻認定を取得後の現状 ・デンタルタイアップの認定の取得についての状況
12:25	第4部 情報共有していいところを学びあおう (治療計画予定表・業務記録を確認し合うグループワーク)	・グループ討議 他院の良いところを学び自院の問題点をカイゼンしよう ・治療計画予定表・機能訓練に関する記録 ・患者への提供文書(歯管・実地指導・など)

セミナー全参加者の声

第1部「歯科医院全体で保険を知って行動しよう！」のご感想

普段入力を行っていないので理解することで精一杯でした。医院で現状確認をもう一度して行きたいと思います
内容の再確認になった。

詳しく学べて良かったです。

保険について改めて理解ができました。ありがとうございます。

保険について深く知れたので良かったです

口管強があることで出来ることが増えたり、取れる点数も増えるので、算定漏れの内容を頭に入れていきたいと思いました。

わかりやすく、細かい資料を事前にいただけたので、しっかり理解することができたつもりです。ありがとうございます。

複雑な保険の仕組みを少しでも理解できたように思います。直接現場にはかかわりませんが、基礎的な知識として必要だと感じました。

再確認できて良かったです。

資料がとても細かくまとまり、見やすく、受講者への配慮をととても感じました。

しっかり、勉強して算定していくことの大切さと、厚労省の方向を知ることの大切さに改めて勉強になりました。

内容がとても詳しくわかりやすかったです。

ただ、スライドが早すぎて、理解ができなかったところがあるので、後でじっくり見返したいと思います。

算定要件やその解説が一つひとつ丁寧で、特に「口管強」の有無による影響について、具体的に示していただけた点が非常に参考になりました。また、現在の国の方針のもとで歯科医院に求められている役割について、より深く理解することができました。特典付録として配布いただいた問診票や管理表、診療の基本的な流れに関する資料などは、普段なかなか目にする機会がなかったもので、私たちが関わる歯科医院がどのような医療を提供しているのかを改めて知る良い機会となりました。これらの事前知識を踏まえて、今後は実際の見学などもさせていただければと思います。

診療報酬改定の内容を歯科衛生士が把握することで日常業務との結び付きを考えるきっかけとなりました。

今実施していることの入力で自信のなかったところも理解することができ良かったです。

第2部「いきいきと働き続けるための習慣」のご感想 講演：中條克己 先生

睡眠とタンパク質が大切なことが印象に残りました。紹介して頂いた書籍読んでみようと思います。

セルフケアがありプロケアが生きる事をしれた。これは口腔内にも通ずるところがあると感じた。

とてもためになりましたがもう少し時間がほしかった。

セルフケアを普段怠っていることに気づけました。これから気をつけるようにします。

健康管理をしっかりしようと思いました。

何よりも睡眠ということがわかり、自分の生活習慣を見直そうと思えました。

もっともっと講義を拝聴したかったです。今、1番興味のある内容だったので、本当に勉強になりました。

やはりセルフケアとして自分の身体を自分で管理していく、根本的なことが一番大事であると再認識しました。心のケアは身体のケアからを進めていきたいです。

大変勉強になりました。

仕事のやり方の前に、セルフケア、自己認識が大切だと思いました。

テーマがまた今の時代にタイムリーでとても分かりやすく有意義でした。

脳の抵抗が少ない行動、環境の改善を考えて回りの方々、自分のストレス少なくすることが早い。

また、なってから、治すより、なる前に知ることの方が、価値が高いが印象に残りました。

セルフケアには睡眠が1番大事だと習ったのでできるだけたくさん取れるよう努力したいと思います。

より良い診療(価値)を提供するにはそれを提供する側の健康状態をまず守っていかなければならないものと考えます。パフォーマンスを発揮する為の段階として、基礎中の基礎がまず健康であるというところに得心がきました。自身の経験上において、働き始めた時はOJTで教わる部分がなかなか身につかず、苦労をした経験がありますが、その時もやはり土台部分の睡眠不足や不健康でパフォーマンスを発揮できなかったのではないかと振り返る次第です。最近も公私とも忙しく、休憩時間も短く不規則になっております。なんとなく「疲れている」と感じる曖昧な状態から、自分のコンディションを客観的に把握し、休息にもメリハリをつけることがまず必要だと気づきました。紹介いただいた書籍も参考にさせていただきます。ありがとうございました。

ストレスに対するセルフケアの大事さと具体的なケア方法を知ることができました。健康で長く仕事をしたいと思っているので、より意識しなければと思いました。特に睡眠は1番目に優先すべきケアとしつつ、自身では睡眠時間の確保に加えて寝具など寝る環境も整えていきたいと思いました。

セルフケアの重要性を理解することができ、隙間時間にストレッチを行い、セルフケアを実践しようと思いました。

第3部「業務が変わる！浸麻を打つDHの意識」のご感想

各医院、きっかけはドクターの手を取らせないようにチェアタイムを予防、治療でしっかり取れるようにと言う意識を持たれているのが印象的でした。

他の医院のやり方もわかり勉強になりました。

歯科衛生士が浸潤麻酔を打つことで患者さん、Dr.とDHにとって沢山のメリットがあることを知りました。

2年以上勤務後、認定を取得したいです。

どの医院さんも診療時間やドクターへの負担が減ったとの意見があり、メリットがあるため認定を取りたいと思いました。

各医院の皆様が、誇りを持って診療されていることを拝聴でき、刺激になりました。ありがとうございました。

資格認定を取得した後の様々な変化を具体的に教えて頂きとても参考になりました。

当院では認定取得までは中々すすまないようですが、少しでも、意識を変化する方向にむけられたらと思います。

わく歯科さんの講演内容が実際の流れなどの把握もできてわかりやすくよかったです。

今後の、厚労省の報告をみていくことと、学生の学習内容に加えていこうと思います。

これからの、歯科衛生士、ことように業務改革と同時に、地位も高くなれるようしっかりと、話していきたいです。

歯科衛生士が浸麻を打てるのは自分自身の業務にメリットがあると分かっている、リスクも避けられないので積極的ではありませんでしたが、想像していたよりも他院では取り入れていることがわかったので、院内で話し合いたいと思いました。

歯科衛生士の麻酔処置に関して、そのリスクに対する不安の声が院内外を問わずあることは理解しております。私自身、家族が麻酔後に有害反射を起こした経験があり、そのリスクを身近に感じたこともあります。

一方で今後の歯科診療においては診療効率の向上、アポイントの円滑化、そしてドクターの負担軽減といった観点から、歯科衛生士による湿潤麻酔の導入は避けて通れないテーマであると感じています。

それぞれの医院がリスクと向き合いながら前向きに取り組んでいる事例を知ることができ、大変参考になりました。

浸麻を打つDHの方々の生の声を聴ける機会が自身の経験で無かったので大変参考になりました。浸麻の技術と知識を持つDHが業界内でより増えて認知されていくよう、関係団体や教育機関、マスコミなど業界全体でも盛り上がって欲しいと思いました。

日々の診療から自分に出来ることが増えて、ドクターの手も取らないと考えると効率的で良いと思いました。

第4部「情報共有していいところを学びあおう」のご感想

歯科衛生士実地記録について話し合いました。PDの有無を書いていると言うことに衝撃を受けて頂きました。

担当制有無について、新しい視点を得ることができた。1人の患者さんを多くのスタッフが診ることで、それぞれが役割分担をできたり負担を減らすことができる。

業務記録はいつも問題になっていましたが、他の医院のやり方や記載してよかったことを聞いて勉強になりました。

普段、他院の方と交流を持つ事がないのですごく勉強になりました。ありがとうございます。

色々な歯科医院の情報を知れたので今後活かしていきたいです。

短い時間でしたが、資料の使い方やアポの時間など教えていただけてよかったです。

他院の方、DAの方とグループワークをすることで、関わっている医院を俯瞰して見ることができました。色々と整理するきっかけになりました。ありがとうございました。

どちらの医院様も DX 化の検討をされているようで、また、継承を一つの機会としてされている方もあり、こちらも参考にさせていただきたくです。

各先生方のお話が刺激になりました。ありがとうございました。

歯科衛生士と浸麻の現在の取り組み方や考え方などとても参考になりました。

小児口腔機能発達不全症の導入案の保護者への説明を、佐伯歯科医院さんが途中だったので、出来たら教えていただきたいです。グループトークのとき、出来たらパシリーターがいるとスムーズでした。

他の医院でのやり方や考え方を聞くことができ、とても参考になりました。特典付録を活用し当院でも取り入れたいです。

情報共有を行ったグループ内では、治療計画予定表の活用から浮き彫りとなった診療システムの課題について話し合いました。担当患者制と複数名担当制の利点欠点について、医療の質、効率、働き方の切り口から考えるきっかけになりました。

グループディスカッションでは、緊張して、いつものように人とコミュニケーションを取ることができなかったが、実地指導の用紙や低下症、不全症など日々の診療での工夫している点を聞くことができ、医院に持ち帰って実践できることは取り入れたいと思いました。

全体のご感想

情報共有のところで他の医院の話を聞けてよかったです。

短い時間でしたが学ぶことが多かったです。ありがとうございました。

歯科以外の項目があると着眼点を変えることができるのでいいなと感じました。

今回、発表をさせていただきより一層伝えるということを学びました。ありがとうございました。

歯科医院で働き始めて1ヶ月、日々わからないことだらけで過ぎてしまいましたが、今回他院の方々のお話を伺い、チームワークの大切さだったり、一人一人の知識が不可欠なことがわかりました。

また、中條先生の講義はとても興味深く、私自身今までの職歴で食べ物や栄養に関する勉強をしてきたので、もう少し深く掘り下げて確認してみようと思いました。あまり焦ったりせず、のんびりメリハリをつけながらこれからの仕事に向き合って行きたいと思います。本日は貴重なお話をいただき、本当にありがとうございました。

歯科の保険の条件や届出のルールなど複雑な仕組みがあり普段の業務が行えているところを学びました。また、仕事を行う上で自身の健康がどれだけ大切かを知ることができました。他院の方と交流することができて立場によって様々な考えがあることを理解することができました。ありがとうございました。

とても勉強になりました。このセミナーでの内容を今後にも活かしていきたいです。ありがとうございました。

初めて zoom でのセミナー参加でした。各医院の規模や、取り組みを知れて良かったです。

有意義な時間でした。国の流れに沿ったデンタルタイアップ様の講義は、国家資格を持つ DH としても大切な学びだと改めて感じました。貴重なセミナーに参加させて頂き、本当にありがとうございました。

保険改正で口管強、口腔機能管理の加算などが追加されていて今回のセミナーで理解することができました。

歯科衛生士が浸麻をすることへの不安がありましたがセミナーを聞き、認定をとりたいと思いました。

本日はありがとうございました。

初めての参加でしたが、改めて自分の知識不足を痛感したので、頂いた資料をもとに整理し、身につけていきたいです。ありがとうございました。

良い機会をいただきました。有難うございました。

大変勉強になることばかりでした。

自分の足りなさを知ることができ、今後はもっとしっかりと勉強していかなくてはいけないと思います。

特に印象に残ったのが、第三部のわく歯科医院 谷垣様の発表の中で、「戦略会議」の中で「浸麻が議論に上がった」という言葉でした。

私達は、まず「戦略会議」さえ出来ておらず、「議論する」までに至っていない、と。他院様を見て、何歩も先を行かれているのだな、と感じました。全体を通して、イキイキと働くカッコイイ方ばかりの発表だったので、自分も少しずつそうなるように努めていきたいと思っています。ありがとうございました。

中條先生の講演をまた長時間で聴きたいです。

今回のテーマはどれもとても興味深く、実際受講してデンタルタイアップ社が、我々歯科業界の発展のために尽力していただいている事がよくわかりました。ありがとうございました。

改めて、保険請求、歯周病の流れ、訪問診療の流れ、新しくなっているところがしっかりインプットできました。プロとして長く仕事していくことの大切さ、楽しさを少しずつ伝えていきたいです。ありがとうございました。

歯科衛生士による浸潤麻酔の実践についてとても勉強になりました。

どれも内容が濃く情報が多すぎて、私の理解度のレベルを超えており、半日ではもったいないくらいでした。参加型のグループワークはオンデマンドよりもずっと刺激になりよかったです。また参加したいです。

研修会に参加できることへの感謝を忘れず、健康で長く働き続けることで、もっともっと貢献したいと思っています。本日は本当にありがとうございました。

歯科医院経営をお手伝いさせていただく立場として今後とも勉強させていただきたいです。

保険については理解出来ていなかったり曖昧な所もあり、しっかり復習・確認をして改めて勉強し直す必要があると思いました。早く進んでいったのもう少し時間がありゆっくり進めばと感じました。

中條先生のお話も自分にもですがスタッフとの関わり方にも応用できればと思いました。

歯科衛生士の浸麻は自分でも色々調べていたので実践されている方の貴重なお話が聞けて勉強になりました。

本日はありがとうございました。

訪問診療の保険項目は難しく思っていたのですが、外来との比較の説明で頭が少し整理できました。まだまだやっていることで、保険の算定ができることや、気を引き締めないといけないところもありとても勉強になりました。

また、ストレス対策のお話では、仕事のパフォーマンスをアプリで表現されたこともとても理解を得やすい表現で、人は体が資本だということを改めて認識できた機会となりました。

グループワークでも違った角度からのアドバイスもいただけて一つ階段を登れた気がしますので、是非検討したいと思いました。

また今回、発表の機会を頂きましたこともありがとうございました。不手際でご迷惑をお掛けしましたが、よい経験を重ねられたと思います。

この度の合同セミナーを企画くださりありがとうございました。自身は初参加でしたが、業界内の潮流を知り、そして自医院の現状を見つめ直すためにこのセミナーの定期的な参加が必要だと思いました。また、他医院の方々と
の接点から、働き場所は違っても皆同じように頑張っていることが分かって仕事へのモチベーションが上がりました。

半日という短い時間でしたが、とても濃い時間でした。普段関わりのない、他院と関わりを持つことができ良かったです。

皆様からのご質問・回答

No.	項目	内容
1	質問	有病者チェックリストの中の糖尿病手帳についてです。 どのように活用するのが望ましいのでしょうか？（お薬手帳のようにコピーをとったりするものなのでしょうか？）
	回答	糖尿病手帳と歯科との関連性は非常に重要です。糖尿病は全身の健康に影響を及ぼす慢性疾患であり、歯科（特に歯周病）との関係が密接であるため、歯科医療従事者が糖尿病手帳を活用することは糖尿病学会や歯周病学会でも重要とされています。 【活用例】 歯科での糖尿病手帳を持参された場合、最新の HbA1c を確認して治療判断の参考にする。 医科との連携を強化し、血糖値が高い場合は事前に主治医と相談。 治療後に糖尿病管理への影響を記載し、医科にフィードバックを返す。 【医療保険】 歯科で糖尿病手帳の情報をういて治療方針やリスク評価を行い、 → 医科（糖尿病専門医・かかりつけ医）へ情報共有 120 点。 医管 45 点・総医 50 点で管理。 糖尿病連携手帳記載及び活用方法（歯科医院用） https://www.city.nichinan.lg.jp/material/files/group/67/68bfad6d4eb2ba77e8d767ad0f145ae7_3.pdf 日南市ホームページより
2	質問	早く寝ると歳をとるにつれ、早く目が覚めるのでそのまま起きてしまいます。2 度寝をしたほうがいいのでしょうか？ 気になりました。
	回答	まずは、先日お伝えした「睡眠の質」という 3 ポイントを実践してください。 2 度寝は程度によりますが、基本、身体が欲しているならいいと思います。 私もよくやっています。トータルで 7 時間以上寝られれば OK です。 ただし、夜にまとめてではなく、日中に何回か短時間睡眠をして、合計 7 時間というのは、あまりお勧めできません。 詳しくは、参考図書を読んでみてください。 回答：中條克己 様
3	質問	鬱のスタッフがいたら、まずはどのような手順を踏むといいのでしょうか？
	回答	鬱やメンタル不調のスタッフへの対応は、それについてのセミナーが 1 つあるくらいですので、一言では言えません。 先日のセルフケアに対して、ラインケアという項目になるとありますが、一般的に言われるラインケアで上手くいっている企業さんは、むしろ少ないです。 それに対して、医療マインドでなく、労務・業務マインドで、対応を整理することが、実は最重要なのです。そのセミナーも広く行っておりますので、ご希望ありましたら、デンタルタイアップ様を介してお知らせください。 労務・業務マインドで対応を整理するセミナーですが、これは無料のフロントセミナー（仕組化セミナー）です 回答：中條克己 様